

自然環境保全セミナーを開催しました



11月17日に、「自然共生サイトを活用したネイチャーポジティブへの取り組みについて」と題し、自然環境保全セミナーを開催しました。

2022年12月に世界目標「昆明・モントリオール生物多様性枠組」が採択され、日本でも生物多様性国家戦略を改定し、2030年までの「ネイチャーポジティブ」の実現と、陸と海の30%以上を保全する「30by30」の目標を掲げました。ネイチャーポジティブと30by30の実現には、国立公園等の保護地域の拡張に加え「自然共生サイト」や「OECM」登録を増加させることが必要とされており、登録された地域での活動や、企業を主体にした生物多様性の保全につながる活動を増やしていくことが求められています。そのため、今後三重県内における生物多様性保全に向けた取り組みがますます活発になることを期待し、本セミナーを開催しました。

セミナーでは環境省中部地方環境事務所の田中氏、亀山市役所の上野氏、ダイキン工業株式会社の大家氏、東芝産業機器システム株式会社の小山氏を講師にお迎えし、国・市・民間企業それぞれの自然共生サイトに関する取り組み等についてご紹介いただきました。当日は70名を超える多くの皆様にご参加いただき、ネイチャーポジティブへの関心の高まりがうかがえました。

当事業団では、これまでに積み重ねてきた生物調査に関する幅広い知識や技術を用いて「自然共生サイト」の登録申請に必要な動植物種の調査、GISデータの作成、モニタリング計画の策定等について、サポートさせていただきたいと考えています。その他にも、自然環境調査、自然再生、ビオトープづくりなどの支援も可能ですので、ぜひお気軽にお問い合わせください。また、詳細については、ホームページでもご案内しております。



環境コンサルティング部 ホームページ
(<https://www.mec.or.jp/index.php/size/>)

お問合せ先

環境コンサルティング部 コンサルティング課
Tel 059-245-7509 Fax 059-245-7519

ストックホルム条約（POPs条約）の 新規制対象物質とその分析対応について

2025年4月28日～5月9日に開催された、残留性有機汚染物質（POPs）に関するストックホルム条約（POPs条約）の第12回締約国会議（COP12）において、新たに以下の物質を同条約の附属書A（廃絶対象物質）に追加することが決定されました。

物質名	CAS番号	主な用途
クロルピリホス	2921-88-2	有機リン酸系の殺虫剤
中鎖塩素化パラフィン※	85535-85-9	金属加工油剤・難燃性樹脂原料等
長鎖ペルフルオロカルボン酸とその塩及びLC-PFCA関連物質	—	フッ素ポリマー加工助剤、 界面活性剤等

※炭素数14～17までのものであって塩素の含有量が全体量の45%であるもの

これらの物質については、今後、国際的に協調して製造・使用等の廃絶に向けた取組を行うこととなります。

日本における化学物質審査規制法（化審法）による対応（案）では、これらの物質群が難分解性、高蓄積性、かつ長期毒性を有することから、化審法の第一種特定化学物質に指定される予定です。

三重県環境保全事業団では、これらの物質について高精度な分析サービスを提供しています。

また、PFAS類については、国内での検出状況調査に基づき、PFBS、PFBA、PFPeA、PFHxA、PFHpA、HFPO-DA（GenX）等についても対応可能です。

詳細につきましては、当事業団のホームページにてご案内しております。



PFAS分析



中鎖塩素化パラフィン



残留農薬分析

これらの分析に関するご相談、お問合せ等ございましたら、どうぞお気軽にご連絡ください。

お問合せ先

科学分析部 第二分析課

Tel 059-245-7508 Fax 059-245-7516

答志島「奈佐の浜」での 海岸清掃活動に参加しました！

廃棄物管理部が加盟する三重県産業廃棄物対策推進協議会では、毎年、三重県鳥羽市答志島奈佐の浜で海岸清掃活動を実施しています。今回は、2025年11月14日(金)に、三重県内の行政機関・民間企業26団体より53名が参加し、活動が開催されました。当事業団では、新人研修の一環として、6名が参加しました。

閉鎖性水域である伊勢湾には系内の河川等から流入したごみが漂流しており、台風や豪雨災害の後に潮流や風向きの影響から大量のごみが答志島の海岸に漂着しています。

今回は、1時間半程の活動を行い、プラスチックごみや流木を含む多くの漂着ごみを回収しました。小さいビニール片、ボロボロになった発泡スチロールなど細かいごみが多く、拾うのが難しい印象を受けました。



お問合せ先

廃棄物管理部 管理課

Tel 059-328-2567 Fax 059-328-2967

セミナー情報



●ISO14001 (2015) 内部監査員養成セミナー

●ISO9001 (2015) 内部監査員養成セミナー

組織の環境負荷の低減などにつながる環境マネジメントシステムや、品質管理の強化につながる品質マネジメントシステムについて、基となる規格の解説や内部監査の手法などについて学んでいただけます。

①ISO14001 (会場参加型) 9時～17時

2026年2月5日(木)～6日(金)

②ISO9001 (会場参加型) 9時～17時

2026年1月22日(木)～23日(金)

すべて参加費：44,000円／1人 (JIS規格書含・消費税込)

※各種セミナーの詳細は、当事業団ホームページでご確認ください。

※上記の他、企業様に合わせた出張セミナーも承っておりますので、お気軽にご相談ください。

お問合せ先

環境コンサルティング部 セミナー担当

Tel 059-245-7509 Fax 059-245-7519

ホームページ <http://www.mec.or.jp/seminar/>

地球沸騰化時代の生き方改革

#適応しよう

国立環境研究所 気候変動適応センターが展開している「#適応しよう」キャンペーン。猛暑や大雨など変化する気候の中でも快適に暮らしていくために、最新の科学的知見をもとにした15の「適応アクション」を、国民一人ひとりに広げていくことを目指しています。

三重県気候変動適応センターも賛同パートナーとして、熱中症対策をはじめとする適応アクションを推進し、情報発信や普及啓発に取り組んでいます。



みんなが思う「普通の夏」が変わります



着たい、履きたい、顔の運び方と別れる



スマホが使えなくても、家族と再会できますか？



1年にたった一度の確率で、守れるものがある



未来の地球人は何を食べている？



わたしたちは毎日おにぎり1個分の食料を捨てている



地球が暑くなると、電力不足になる理由



水が自由に使えない未来を想像できますか？



オシャレなだけじゃない驚くべき緑の効果



災害大国・日本には、たくさんの知恵がある



スポーツを安全に楽しむために



パフォーマンスを下げない、クールな試合の楽しみ方



刺されただけで、終わらない脅威



新発想は、ピンチから生まれる



小さな習慣で、大きく変わる



詳しくは
こちらから



お問合せ先

三重県気候変動適応センター

Tel 059-245-7529 Fax 059-245-7518

河芸社屋

〒510-0304 三重県津市河芸町上野3258番地

Tel:059-245-7505 Fax:059-245-7515

フリーアクセス 0120-0592-03

ホームページ <https://www.mec.or.jp>

廃棄物処理センター（廃棄物管理部）

新小山最終処分場

〒512-1102 四日市市小山町字西北野3234-1

管理課 Tel:059-328-2567 Fax:059-328-2967

施設課 Tel:059-328-2727 Fax:059-328-8652

●事業団への御相談・御希望又は「みえか」の御感想をお寄せください。 E-mail: mec@mec.or.jp